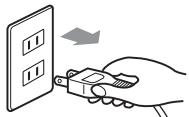


## 10 清掃・洗浄について

以下の「清掃・洗浄について」をよくお読みいただき、正しく作業を行ってください。

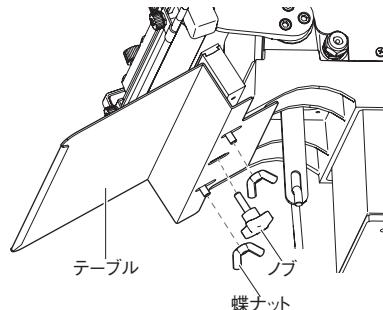
**△ 警告** 清掃・洗浄を行う時は、必ず電源プラグを手で持ってコンセントから抜き、作業を行ってください。電源プラグを差し込んだまま作業を行うと感電する危険性があります。



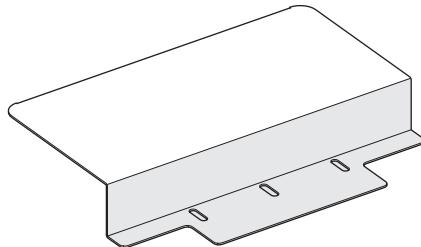
必ず電源プラグをコンセントから抜いた  
状態で作業を行ってください。

### 10-1 テーブルの清掃・洗浄

- 蝶ナットとノブを緩めて取り外し、テーブルを取り外してください。



- メインフレームとの密着面に付着した調味液などを拭き掃除、または水洗いをしてください。



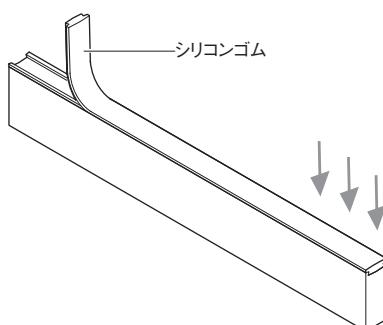
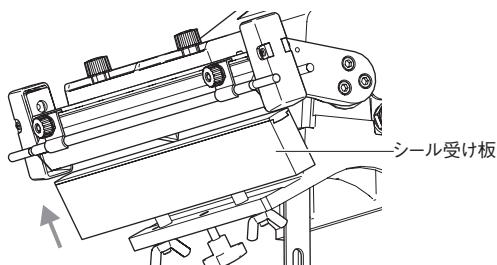
- 水洗いをした場合はよく乾かしてから元通りに取り付けてください。

**△ 注意** 洗剤を使用する場合は中性洗剤を薄めたものをご使用ください。酸性・アルカリ性のものは耐食性が損なわれますので絶対に使用しないでください。

**△ 注意** 固いブラシなどを使用しての擦り洗いは表面に傷が入るので行わないでください。

### 10-2 シール受け板の清掃・洗浄

- シール受け板を取り外してください。
- 「9-5 シリコンゴムの交換」(→ P.22) を参考して、シリコンゴムを外してください。
- シール受け板、シリコンゴムを水洗いしてください。
- 水洗いをしたシール受け板、シリコンゴムはよく乾かしてから元通りに取り付けてください。



**△ 注意** シリコンゴムを取り付けたまま水洗いをすると、シリコンゴムとシール受け板の隙間に水が残ったままになる可能性がありますので、必ずシリコンゴムは取り外してください。

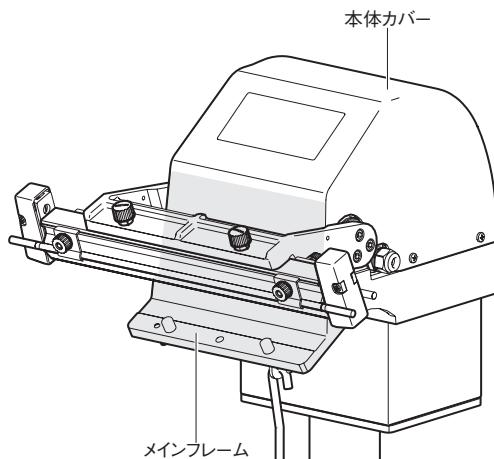
### 10-3 メインフレーム・本体カバー前部の清掃・洗浄

- 1 「10-1 テーブルの清掃・洗浄」(→ P.23) を参照して、テーブルを取り外してください。
- 2 「10-2 シール受け板の清掃・洗浄」(→ P.23) を参照して、シール受け板を取り外してください。
- 3 メインフレーム・本体カバー前部(シール受け板取付部周辺)に付着した調味液などを拭き掃除、または水洗いをしてください。
- 4 水洗いをした場合はよく乾かしてから外した部品を元通りに取り付けてください。

**△ 注意** ホースで水をかける場合はメインフレームの前側(シール受け板取付部周辺)だけにしてください。また、その際はじょうろ程度の弱い水流で上から下に軽く洗い流すようにしてください。

**△ 注意** 洗剤を使用する場合は中性洗剤を薄めたものをご使用ください。酸性・アルカリ性のものは耐食性が損なわれますので絶対に使用しないでください。

**△ 注意** 固いブラシなどを使用しての擦り洗いは表面に傷が入るので行わないでください。



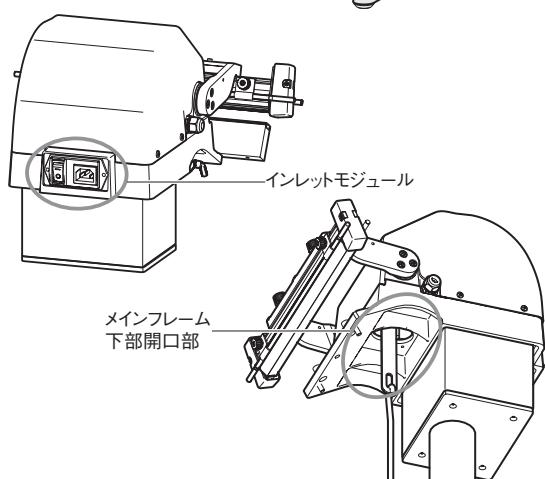
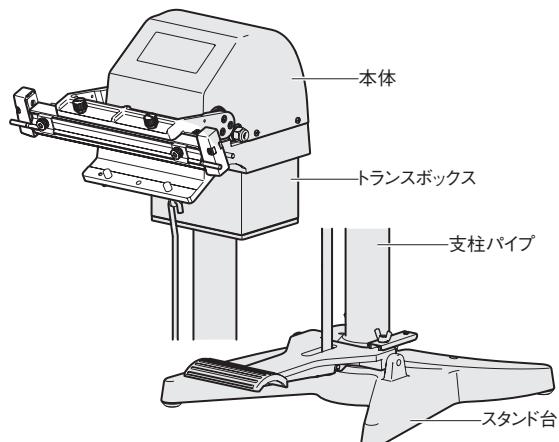
### 10-4 本体・トランスポックス・支柱パイプ・スタンド台の清掃

- 1 タオルなどで拭き掃除をしてください。  
濡れタオルを使用する場合は、水をよく絞った濡れタオルで拭き掃除をしてください。  
ホースなどで直接、水をかけて洗わないでください。

**△ 注意** 本体は完全防水ではありません。水滴が本体カバー、操作パネルに飛散する、または鉛直方向から落ちる程度に対しての防滴はありますが、インレットモジュールやメインフレーム下部開口部に直接、水をかけるようなことはしないでください。

**△ 注意** インレットモジュールやメインフレーム下部開口部に水をかけて内部が濡れたまま使用すると部品が故障し、電源が入らなくなります。

**△ 注意** インレットモジュールの電源コード接続用インレットの内部が水で濡れたまま使用すると絶縁機能が衰えて漏電し、使用している電源設備の安全装置(漏電ブレーカー・過電流ブレーカー)が働いて電源が遮断されます。



## 10-5 圧着レバー部の清掃

- 1 タオルなどで拭き掃除してください。  
ホースなどで直接、水をかけて洗わないでください。
- 2 圧着バーは取り外しができます。締結面の隙間  
から調味液などが侵入し汚れた場合は、「9-3  
ヒーターの交換」(→ P.20)を参照して圧  
着バーを取り外して、拭き掃除してください。

